

2017年度 聖書講座

# 宗教改革期の 芸術世界

11月18日(土)

〈共催〉

カトリック東京大司教区  
上智大学キリスト教文化研究所

① 10:20 ~ 10:30

挨拶

上智大学教授 竹内 修一

② 10:30 ~ 11:30

宗教改革期の教会建築

工学院大学准教授 中島 智章

③ 13:00 ~ 14:00

トレント公会議とカトリック美術

— 奇蹟の聖母像を中心に —

早稲田大学教授 児嶋 由枝

④ 14:15 ~ 15:15

バッハ《ヨハネ受難曲》

受難の道筋

国立音楽大学招聘教授 / 大阪音楽大学客員教授 磯山 雅

⑤ 15:45 ~ 16:45

シンポジウム

(司会) 上智大学教授 竹内 修一

場 所: 上智大学 中央図書館 9階 921会議室

発 売 所: 聖イグナチオ教会案内所 (月曜休み)

聴 講 券: 一般: 1,000円 学生: 800円

Tel.03-3230-3509

発 売 日: 10月20日(金)~

または上智大学キリスト教文化研究所 (土日祝休み)

(JR中央・総武線、地下鉄丸の内線、南北線 四ツ谷駅下車)

問合せ先

上智大学キリスト教文化研究所

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

Tel.03-3238-3540 Fax.03-3238-4145

# 2017年度 聖書講座

〈共催〉カトリック東京大司教区  
上智大学キリスト教文化研究所

## 『宗教改革期の芸術世界』

	日 時	テーマ	講 師	内 容
1	11月18日(土) 10:30~11:30	宗教改革期の教会建築	工学院大学准教授 中島 智章	16世紀は西洋建築史では盛期ルネサンス、後期ルネサンス(マニエリスム)にあたる。ブラマンテ、ミケランジェロ、パラディオなどの巨匠建築家が教会建築の世界で名作を残した一方、フランスなどその他の地域では中世以来のゴシック建築の伝統が根強く続いていて、建築様式の観点から面白い状況がみられるが、それらはほとんどカトリック教会のものだった。一方、ルター派やカルヴァン派などのプロテスタント諸派では、新築よりもカトリックの教会堂の転用例の方がはるかに多く、何が省かれ何が加えられたかを見ることでカトリックとプロテスタントの違いが浮き彫りになるだろう。本発表では、カトリック側の巨匠たちによる、ローマのサン・ピエトロ大聖堂、イル・ジェズ教会堂などのルネサンスの新築教会堂とその様式的特徴を概観しつつ、プロテスタント諸派の転用例としてジュネーヴ大聖堂、ハイデルベルクの聖三位一体教会堂、ライプツィヒの聖トーマス教会堂などを紹介する。
2	11月18日(土) 13:00~14:00	トレント公会議とカトリック美術 — 奇蹟の聖母像を中心に —	早稲田大学教授 児嶋 由枝	カトリック教会は1563年のトレント公会議第25会議において、礼拝および教化における聖像の重要性をあらためて確認しました。そして、聖人の受難や奇蹟の場面が多く描かれると同時に、奇蹟をおこすとして中世から特別の崇敬をあつめた聖像の復興がはかられます。その背景として、聖像崇敬、聖人崇敬、およびそれらに起因する奇蹟を否定するプロテスタントに対抗する姿勢を指摘することもできます。講座では、まず、こうしたカトリック改革期の美術を概観し、次いで、「雪の聖母」と「ロレートの聖母」の二つの聖母像について考えていきます。「雪の聖母」はローマのサンタ・マリア・マジョーレ聖堂建造にまつわる奇蹟に登場する聖母で、「ロレートの聖母」はイタリア中部の町ロレートに“聖なる家”をもたらした奇蹟の聖母です。カトリック改革期に特に重要視されました。後者に関しては、バロックの巨匠カラヴァッジョの作品にも注目したいと思います。
3	11月18日(土) 14:15~15:15	バッハ《ヨハネ受難曲》 受難の道筋	国立音楽大学招聘教授 大阪音楽大学客員教授 礒山 雅	宗教改革からの200年余、ドイツのルター派地域では、ルターの「神の賜物 Donum Dei」という評価に基づいて、音楽に大きな発展が見られました。中でも特色ある発展を遂げたのが受難曲で、バッハの《マタイ》、《ヨハネ》両受難曲が頂点に聳えています。しかし《ヨハネ受難曲》は上演されるたびに形を変えており、その「受難」とも呼ぶべき変遷には、神学が深くかかわっています。問題となるのは、4つの福音書の記述を補い合うものとして相互参照する、「福音書記者の調和」という観点です。調和テキストの伝統は古くから存在しますが、ルター派ではブーゲンハーゲンの受難と復活に関するテキストが権威をもち、礼拝に深く浸透しました。その影響とみなすことでのみ理解できる現象が、音楽には多くあります。その系譜をたどり、バッハがその強力な伝統にどう対処したか、その影響が《ヨハネ受難曲》とその諸稿にどう反映されたかを、最新の研究に基づいて考えます。
4	11月18日(土) 15:45~16:45	シンポジウム	(司会) 上智大学教授 竹内 修一	

場 所 上智大学 中央図書館9階 921会議室

聴講券 一般 1,000円 / 学生 800円

発売日 10月20日(金)~

発売所 聖イグナチオ教会案内所(月曜休み) Tel.03-3230-3509  
または上智大学キリスト教文化研究所(土日祝休み)  
(JR中央・総武線、地下鉄丸の内線、南北線 四ツ谷駅下車)

問合せ先 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1  
上智大学キリスト教文化研究所  
Tel.03-3238-3540 Fax.03-3238-4145